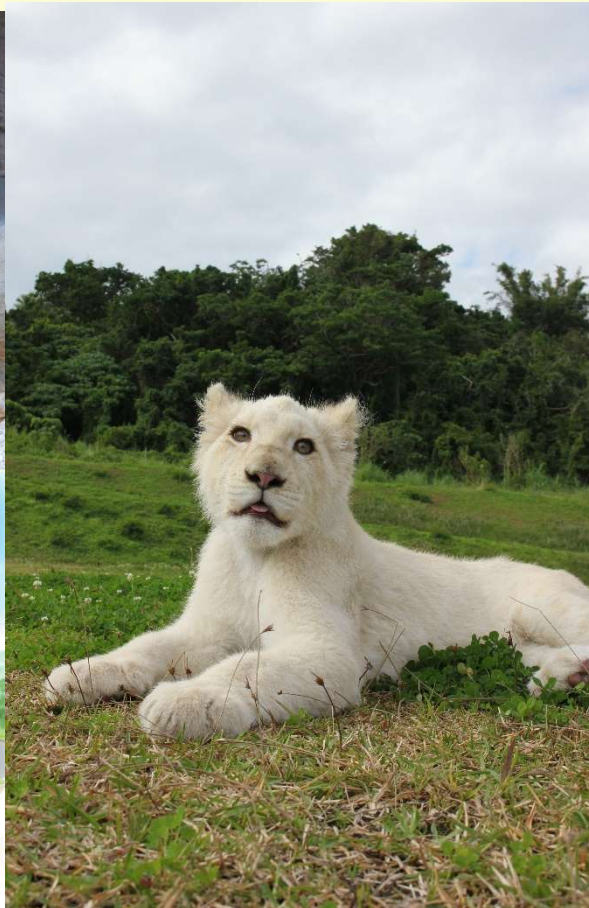


Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

沖縄こどもの国整備事業（予算額：約8億2634万円）

沖縄県内で唯一の本格的な動物園である「沖縄こどもの国」の区域を広げ、動物に関することや自然科学など、色々なことを楽しみながら学ぶことができるよう整備することで、県外や国外からも多くの観光客を誘客できるような、日本一ユニークな施設にしていきます。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

子育て世代包括支援センター事業

(予算額：約1259万円)

妊娠、出産、子育てについて、心配なこと、わからないこと等を相談する窓口です。妊産婦の方や赤ちゃん・子どもの方とそのご家族など、関わりのある方はどなたでもご相談いただいております。

また、妊娠した際には母子健康手帳を交付しており、面談を行っています。これから始まる新しい生活について、カラダやココロ、赤ちゃんを迎えるための生活についての情報提供も行っています。



若年妊産婦の居場所事業 (予算額：約2584万円)

主に18歳以下の妊産婦とその子を対象に、妊娠・出産・育児に関する相談等を行うことで、若年妊産婦が家庭や社会から孤立することなく、安全・安心な居場所で産前・産後が過ごせるよう支援するとともに、安定した生活を営めるよう自立に向けた支援を行います。居場所は、沖縄県助産師会母子未来センター内にあり、助産師、保育士、栄養士が相談・支援にあたります。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

越来小学校新增改築事業（予算額：約7億4036万円）

越来小学校の校舎は昭和48年から使われてきましたが、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建替えることになりました。

令和元年度は、仮設校舎の設置と既存校舎の一部解体を行い、新校舎の建設に着手し、令和3年4月から新しい校舎でのスタートを予定しています。



美東小学校校舎新增改築事業

（予算額：約22億3193万円）

美東小学校の校舎は昭和38年から使われてきましたが、校舎が狭く、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えを行っております。

令和2年4月から新しい校舎でのスタートを予定しています。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

学力向上推進事業（予算額：約1億2183万円）

「夢や希望の実現に向かって歩み続ける幼児児童生徒の育成」をテーマに、わかる授業の充実をめざして指導方法の改善に取り組み、確かな学力の定着と教職員の指導力向上を支援する事業です。

主に、各種支援員の配置や学力調査の実施、小中学校連携の研究、英検等検定料の補助を行っています。



第2調理場改築事業（予算額：約3億1302万円）

市北部の小中学校に学校給食を提供している第2調理場は、昭和55年から使われていますが、調理場が狭く、建物や調理器具も古くなっています。

第2調理場を新しく建て替えをし、より安全安心な学校給食を提供するとともに、公立幼稚園への給食提供や、食物アレルギー対応のサービス向上を行います。令和元年度は土地購入と設計図面の作成などを行い、令和2年度から令和3年度にかけて工事を行います。完成は令和3年度の後半を予定しています。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

こども医療費助成事業（予算額：約5億5112万円）

こどもたちが元気で丈夫に育つことを願って、保護者が病院で支払う医療費の一部を沖縄市が助成するものです。

通院は0歳から小学校6年生まで、入院は0歳から中学卒業までを対象としており、未就学児に対しては現物給付を導入しています。

※こども医療費助成事業における現物給付とは？

県内医療機関で受給資格者証を提示することにより、保険診療分が無料になる制度です。（ただし、自費分の支払いは発生します。）

